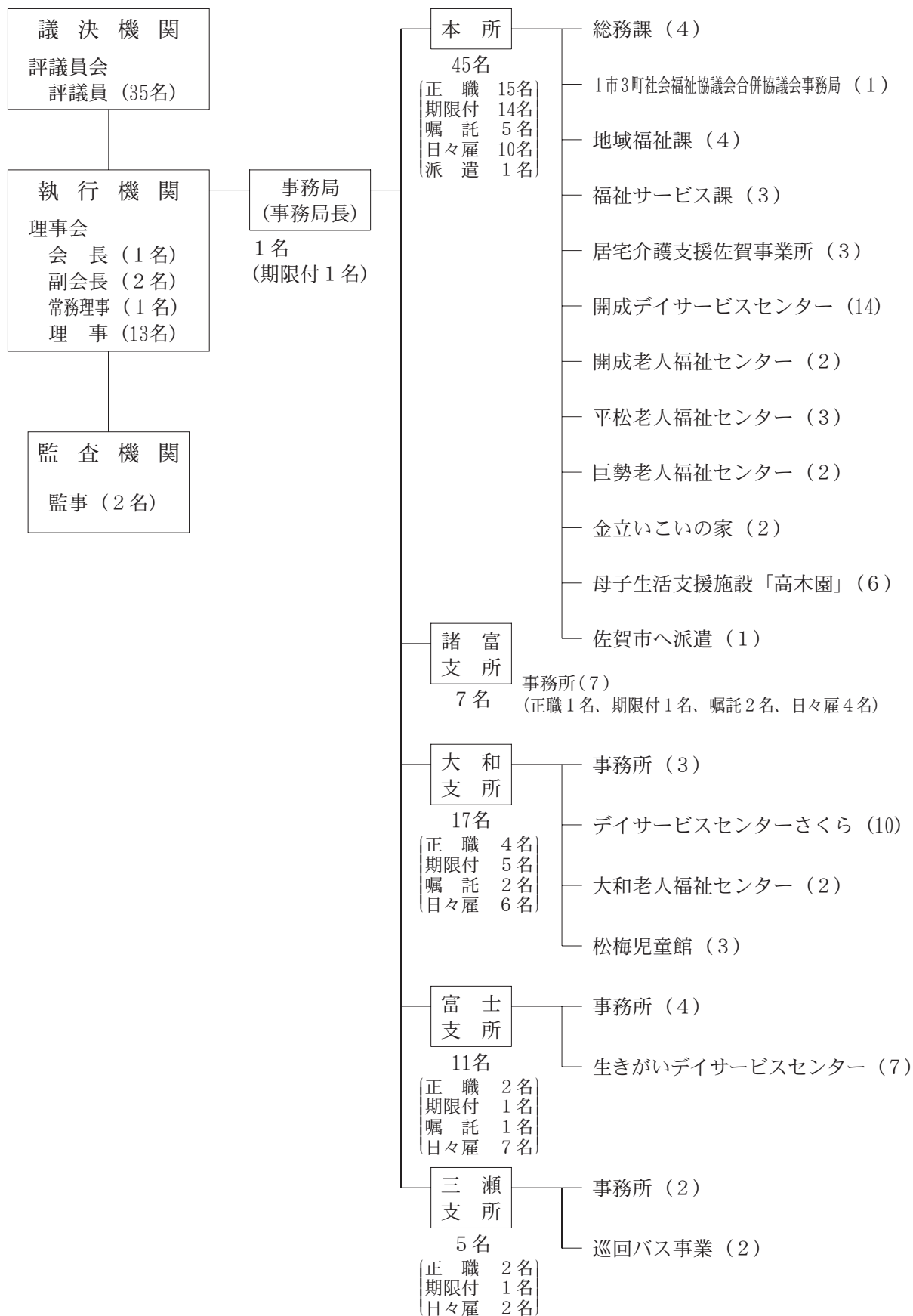


佐賀市社会福祉協議会

I. 組織図

H19. 5. 1 現在



II. 本 所

1. 地域福祉活動事業

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門	(1)民生委員児童 委員活動	民生委員児童委員 活動への支援・協 力。	佐賀市内民生 委員児童委員 448人	◎地区民生委員児童委員協議会 ◎佐賀市民生委員児童委員連絡 協議会会長会 ◎全国民生委員互助共励事業取 扱い ◎佐賀市民生委員児童委員のつ どいへの助成	463 537
	(2)地域福祉活動 計画策定事業	福祉講演会・住民 座談会・住民アン ケート等を基とし て『地域福祉活動 計画』を策定する。	一般市民	【策定委員会開催状況】 第1回 平成19年2月21日 『地域福祉について』の説明 他 第2回 平成19年3月22日 アンケート結果等の説明 他	7 1,141
	(3)ボランティア センター事業	ボランティア活動 団体への助成	一般市民	ボランティア活動をしたい、あ るいはボランティアを必要とす る個人、団体、施設等の相談、 団体、ボランティア協会への運 営費を助成した。	550 540
	地域ボランティア リーダー研修	ボランティア リーダー研修	ボランティア	ボランティアリーダーを対象に、 ボランティア活動の視察研修を 行なった。平成18年度について は諫早市ボランティア連絡協議 会との交流研修を行った。	248 347
	ボランティアのつ どい	ボランティアのつ どい	ボランティア	社会福祉協議会に登録するボラ ンティア団体の代表が一堂に会 し、今後のボランティア活動の 推進を図ることを目的として開 催した。	30 100
	学校ボランティア 育成事業	学校ボランティア 育成事業	小・中・高校	学校内で行なわれる福祉教育・ ボランティア活動の機会を提供 する事業に対して助成を行った。 (小学校24校・中学校14・高校 2校)	1,270 1,740
	中学生ボランティ ア体験学習事業	中学生ボランティ ア体験学習事業	中学生	1泊2日の宿泊型ボランティア 体験学習を実施した。佐賀市、 東与賀町、久保田町、川副町の 中学校から20人が参加した。	187 255
	傾聴ボランティア 講座	傾聴ボランティア 講座	一般市民	高齢者の孤独感解消のために、 講座を開催して、傾聴ボランティ アを養成した。	644 765
	高校生ティーチャー 事業	高校生ティーチャー 事業	該当地域の小 学生	高校生が持っている特技を小学 生に指導することにより、世代 間の交流を図るとともにボラン ティアの心を育てる。神野・新 栄校区の公民館・校区社協・佐 賀北高・佐賀商業高・佐賀工業 高との協働事業として実施した。	93 —

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門		ボランティア活動 保険の受付	ボランティア	ボランティアが安心して活動に取り 組むことができるよう、ボラン ティア活動保険の受付を行った。	0 0
		ボランティア室貸 出	ボランティア・ 福祉団体	福祉ボランティア団体や各福祉 団体等への会議室の貸し出しを 行った。	0 0
		災害ボランティア の取り組み	ボランティア	災害発生時に迅速に対応するた め、災害ボランティアセンター コーディネーター養成研修会に 職員を派遣した。	74 0
		佐賀市福祉ボラン ティア協会代表者 会議への参加	ボランティア 協会所属団体	佐賀市福祉ボランティア協会に 所属する29グループの代表者会 議へ担当者が参加し、協会との 連絡・調整を図った。	0 0
	(4)小地域ネット ワーク活動	校区社会福祉協議 会活動の推進・支 援	校区社会福祉 協議会	小地域福祉活動を担う基礎組織 として設置されている。市内19 校区の校区社会福祉協議会への 支援と協力、助成金交付を行っ た。1校区当り年間30万円助成。 校区社会福祉協議会役員研修と して長崎市校区社会福祉協議会 との交流研修を実施した。 (1/25-26)	6,084 6,140
		高齢者ふれあいサ ロン事業	概ね60歳以上 の閉じこもり がちな高齢者	地域の施設を活用し、ボランティ ア等の協力の下、高齢者の閉じ こもり防止や孤独感の解消の為、 各地区でサロン活動を実施した。 サロン数：117サロン 延べ参加者数：29,398人 主な活動内容：講座・体操・研修等	8,886 10,400
		在宅高齢者会食会 助成事業	在宅高齢者	地域ボランティア・校区社会福 祉協議会の協力のもと、高齢者 の生きがいと健康づくり活動の 推進を図るために会食会を実施 し、社会的孤立感の解消及び自 立生活の助長を図った。	1,697 1,350
	(5)障がい児者支 援事業	佐賀市おもちゃ図 書館「むつごろう 文庫」の運営	主に障がい児 とその家族	主に障がい児を対象に生活訓練 に役立つ手作りのおもちゃの貸 し出しや遊びの場の提供を行っ た。「むつごろう文庫の会」の 協力により毎月4回開館した。	331 289
		視覚障害者婦人部 料理教室	視覚障害者協 会加入者	生活訓練に役立つよう料理教室 の場を提供した。※年3回開催	24,150 —
	(6)福祉教育・啓 発活動	福祉体験学習指導 者派遣事業	地域・学校	地域・学校等で開催される福祉 体験学習（車椅子介助・高齢者 疑似体験等）が、適切な指導に より実施されるように経験・指 導力を備えた指導者（クローバー の会）を派遣した。 アイマスク指導：95講座 疑似体験指導：110講座 車椅子指導：60講座 事前指導：36講座	489 900

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門		社会福祉実習生の 受入れ	社会福祉士を 目指す大学生 等	これからの社会福祉を担う学生 に社会福祉専門職に求められる 姿勢、態度、援助技術を身につ ける実地教育の場を提供し、社 会福祉の増進に繋がるよう指導・ 育成を行った。 ※受入件数 14人 (延べ203日)	0 0
		社協だよりの発行	佐賀市内全世 帯および事業 所	発行部数 87,500部 発行回数 4回/年 頁数 8 項	3,131 3,386
		第2回佐賀市社会 福祉大会の開催	佐賀市内の福 祉関係者	日時 平成19年2月22日 会場 佐賀市文化会館中ホール 講演 三瀬診療所 所長 白浜 雅司 氏 「地域医療の醍醐味」～家族の 支えあい、地域の助け合い～	489 615
	(7)各種福祉団体 支援事業	福祉団体等及び社 会福祉事業施設助 成事業	社会福祉事業 施設・福祉団 体	佐賀市老人クラブ連合会(100)、 肢体不自由児父母の会(58)、佐 賀市視覚障害者福祉協会(65)、 佐賀市傷痍軍人会(50)、佐賀市 遺族会(180)、佐賀市郡原爆被 害者団体協議会(52)、佐賀市身 体障害者福祉協会(200)、佐賀 市母子寡婦福祉連合会(180)、 脳性マヒ児心理療育キャンプ (60)、佐賀市自治会協議会(300)、 佐賀市福祉ボランティア協会 (160)、佐賀市福祉ボランティ ア団体29団体(550)、共に生き る幸せ作りの会(50)、清光園 (100)	2,105 2,484
		福祉バス	本協議会の特 別会員(市内 の福祉関係団 体等)	市内の各種福祉関係団体等が研 修、ボランティア活動等を行う 場合に、円滑な事業活動ができ るようにマイクロバスを利用し て頂き、特別団体等の事業推進 を図った。 ※年間運行件数：175回	395 355
	(8)共同募金・歳 末たすけあい 募金運動への 協力	赤い羽根募金	市内全世帯及 び自治会・学 校・ボランティ ア・関係機関・ 企業・民生児 童委員等	戸別募金：15,744千円 法人募金：5,342千円 学校募金：299千円 職域募金：2,323千円 街頭募金：438千円 イベント募金：164千円 その他募金：544千円 (本所、4支所合計)	24,854 19,332
		歳末たすけあい募 金	市内全世帯及 び自治会・関 係機関・学校 等	戸別募金：9,408千円 学校募金：25千円 職域募金：120千円 街頭募金：8千円 その他募金：158千円 (本所、4支所合計)	9,719 6,360

2. 福祉サービス利用支援部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
福祉サービス利用 支援部門	(1)福祉サービス 利用援助事業 (地域福祉権 利擁護事業)	判断能力が不十分 な人が安心して自 立した地域生活を 送れるよう福祉サー ビスの利用援助を 行った。 ①福祉サービスの 利用援助 ②日常的金銭管理 ③重要書類の保管	認知症高齢者、 知的障がい者、 精神障がい者な ど判断能力が不 十分だが、本事 業の契約内容に ついて判断しえ る能力を有して いると認められ る者	※契約締結件数 ・本 所 15件 ・諸富支所 5件 ・大和支所 3件 ・富士支所 2件 ・三瀬支所 2件 合 計 27件	119	270
	(2)生活福祉資金 貸付事業 (県 社協受託事業)	金融機関や他の公 的貸付制度からの 借入れが困難な所 得の少ない世帯、 障がい者や介護を 要する高齢者のい る世帯に必要な資 金を貸付ける。	低所得者世帯 障がい者世帯 高齢者世帯 失業中の世帯	※相談件数 58件 ※契約件数 1件	397	500
	(3)福祉資金 (小 口) 貸付事業	低所得世帯の自立 更生のため、他か らの資金の貸付が 困難かつ緊急の場 合に、3万円を上 限として貸し付け を行う。	低所得者世帯	※貸付件数 ・本 所 147件 ・諸富支所 4件 ・大和支所 7件 ・富士支所 3件 ・三瀬支所 0件 合 計 161件	3,837	8,626
	(4)住民の福祉活 動の推進・支 援	小災害罹災者世帯 に対する見舞	罹災世帯	災害 (火災) に遭い、物的、精 神的な援護を必要とする状態に ある、罹災者を支援するために 支給した。 件数：15件 対象世帯：22世帯 対象人数：48人	440	600
		子供の遊び場所新 設及び遊具補修助 成金	自治会に管理 されている地 区児童遊園地	助成件数 14件	662	600
		防犯灯の設置助成	佐賀市内の自 治会	助成件数 701件	2,179	1,656
		備品の貸し出し	一般市民	車椅子 72件、白杖、アイマス クなどを貸し出した。	0	0
		歳末たすけあい配 分金事業	佐賀市内老人 福祉センター・ 高齢者世帯・ 要援護児等	★AED (自動体外式除細動器) を市内6カ所に設置した。 ★施設入所児童等に歳末見舞金 を支給した。 ★会食会 ★年末安否確認等の事業に配分した。	3,963	6,360
	(5)各種専門相談 所の開設	無料法律相談事業	一般市民	生活上に発生する法律に関する 困難な問題について、佐賀県弁 護士会の協力により相談事業を 実施した。 ※実施回数 年間10回開催 ※相談者総数 32人	260	260

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
福祉サー ビス利用 支援部門		健康相談事業	一般市民	日常生活上に発生する健康上の 問題等に「気軽に足を運べる相 談機関」として無料で相談を受 け付けた。 ※実施回数 年間24回実施 ※相談者総数 200件	144

(6) 老人福祉センター等運営事業

平松老人福祉センター (19,035,809円)

・平松老人福祉センター事業

入 浴 日 (月、水、木、金＝午前11時～午後3時)

クラブ活動 民謡・大正琴・書道・囲碁・生花・カラオケ・民舞・将棋

墨絵・フォークダンス・吟詠・謡曲・陶芸・俳句・三味線 (延べ参加数17,663人)

年 間 行 事 敬老月間行事 9月

老人福祉センター文化交流祭 11月5日

健康相談 毎 月第2木曜日 嘱託医

奇数月第4月曜日 市保健師

囲碁大会 毎 月第2土曜日

(年2回多久老人福祉センターと交流試合)

将棋大会 奇数月第4土曜日

施設利用状況

月	市 内	市 外	合 計	1 日平均	17年度 1 日平均
4 月	男1,671 女1,206	8 8	2,893	116	115
5 月	1,828 1,220	24 6	3,078	123	127
6 月	1,912 1,350	39 9	3,310	128	126
7 月	1,953 1,142	31 10	3,136	125	121
8 月	1,552 778	42 8	2,380	85	92
9 月	1,830 1,127	68 13	3,038	122	103
10月	1,935 1,288	38 8	3,269	131	119
11月	1,840 1,200	63 5	3,108	124	120
12月	1,713 1,212	31 10	2,966	119	103
1 月	1,744 1,166	32 9	2,951	128	111
2 月	1,824 1,110	30 8	2,972	119	135
3 月	1,931 1,339	49 12	3,331	132	126
合計	35,871	561	36,432	121	—
17年度	34,151	385	34,536	116	—

・平松老人大学

長寿社会の中で、積極的に学習に取り組み、よりいっそう生活を充実し、より高い生きがいを求め、地域社会の活動に順応できる高齢者を目指すため開設

学 生 数 1 年生：65人 2 年生：62人

講 義 園芸・郷土史・一般教養・健康

講 義 回 数 年間30回 60時間

毎週火曜日（休講：夏 8 月・冬 12月末～1 月初）

卒 業 式 26期生 平成19年 3 月13日（火）

18年度（1 年間）授業内容

	学習科目	内 容	1 年	2 年
教育学習	園 芸		6 回	5 回
	郷 土 史	葉隠、その他	6	8
	一般教養	保健関係	5	4
		時事・経済関係	2	2
		施設研修関係	1	1
		社会同和教育	1	1
		その他	9	9
	小 計		30	30
学生活動	運 動 会		1	1
	研修旅行	施設・史跡見学 その他	2	2
	文 芸	ひらまつ文集編纂	1	1
	そ の 他	佐大落語研究会観覧	1	1
	小 計		5	5
合 計			35	35

・巨勢老人福祉センター（17,719,470円）

・巨勢老人福祉センター事業

入 浴 日 月、火、木、金＝午前11時～午後3時

クラブ活動 民謡・大正琴・茶道・舞踊・書道・フラダンス・三味線・囲碁
生花・カラオケ・フォークダンス・吟詠・謡曲・童謡等

敬老月間行事 9 月

健 康 相 談 毎月第2、4 金曜日 嘱託医
隔月 1 回 市保健師

囲 碁 大 会 毎月第3 水曜日

巨勢老人福祉センター利用状況

(単位：人)

月	市 内	市 外	合 計	18年度1日平均	17年度1日平均
4月	男1,191	38	2,470	103	108
	女1,206	35			
5月	1,208	53	2,462	103	113
	1,173	28			
6月	1,356	63	2,824	109	110
	1,377	28			
7月	1,332	61	2,724	105	115
	1,302	29			
8月	1,314	71	2,594	96	102
	1,187	22			
9月	1,253	58	2,513	105	99
	1,186	16			
10月	1,220	58	2,706	108	107
	1,406	22			
11月	1,137	68	2,403	100	110
	1,176	22			
12月	1,047	59	2,299	100	90
	1,172	21			
1月	1,056	66	2,010	87	88
	868	20			
2月	1,181	67	2,377	103	106
	1,104	25			
3月	1,132	63	2,272	91	96
	1,056	21			
合計	28,640	1,014	29,654	100	—
17年度	29,959	853	30,812	104	—

・第15回巨勢シルバーカレッジ

高齢者が福祉社会をより深く認識し、快適な暮らしを高める能力を身につけ、地域社会に貢献できるボランティアも志すために開設した。

入 学 式 平成18年4月20日（木）

学 生 数 50名

内 容 一般教養・郷土史・健康づくり等

講 義 回 数 21回

終 了 式 平成19年3月15日（木）

・金立いこいの家（11,456,116円）

・金立いこいの家事業

入 浴 日 月、火、木、金＝午前11時～午後3時

クラブ活動 民謡・大正琴・書道・囲碁・生花・川柳・歌謡曲・押花

フォークダンス・フラダンス・グラウンドゴルフ・パッチワーク

広連
合等

健康相談 毎月 第2火曜日 保健師
 隔月1回 第3火曜日 市保健師
 囲碁大会 毎月第2水曜日
 文化講座 毎月第3金曜日

金立いこいの家利用状況

(単位：人)

月	市 内	市 外	合 計	1 日平均	17年度 1 日平均
4 月	男687	35	1,195	50	42
	女458	15			
5 月	701	44	1,276	53	45
	516	15			
6 月	658	50	1,186	46	45
	465	13			
7 月	665	41	1,196	48	45
	476	14			
8 月	605	28	1,027	38	40
	386	8			
9 月	730	30	1,319	55	37
	545	14			
10月	698	35	1,308	52	40
	562	13			
11月	607	31	1,167	49	42
	520	9			
12月	657	37	1,185	52	47
	476	15			
1 月	721	18	1,209	53	49
	458	12			
2 月	816	33	1,409	61	57
	547	13			
3 月	798	33	1,306	50	49
	459	16			
合計	14,211	572	14,783	51	—
17年度	12,315	816	13,131	45	—

・金立いこいの家文化講座

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」「人とのふれあい」「学ぶよろこび」を再発見することを目的とした講座を開設した。

開 講 平成18年4月21日（金）
 内 容 一般教養・健康づくり・料理・郷土史 等
 講 義 回 数 12回
 受 講 者 45人
 修 了 平成19年3月16日（金）

老人福祉センター交流文化祭（佐賀市文化会館・中ホール）

市内3老人センターのクラブ及びほほえみ館生涯学習の童謡・唱歌教室が日頃の活動の成果を発表し、相互の親睦を図るために実施した。

内 容 フォークダンス、民謡、大正琴、歌謡曲、舞踊、詩吟、フラダンス
三味線、童謡・唱歌

参 加 者 約557名（平成18年11月5日）

- ・開成老人福祉センター（14,259,864円）
- ・開成老人福祉センター事業

高齢者（60歳以上）に対し、囲碁クラブ活動や健康相談等を開設し日常生活の向上を図るとともに、コミュニティー作りの場を提供し、利用者の精神的、身体的な福祉の向上を図った。

入 浴 日 月曜～金曜：午前11時30分～午後（祭日を除く）

囲碁クラブ 延べ 5,779人

健康相談 毎月第1月曜日 保健師

開成老人福祉センター利用状況

（単位：人）

月	市 内	市 外	合 計	18年度1日平均	17年度1日平均
4月	718	3	867	36.1	38.7
	145	1			
5月	674	2	817	34	49.4
	141	0			
6月	677	3	820	30.4	50.5
	134	6			
7月	621	4	758	29.2	49
	133	0			
8月	751	8	951	35.2	50.1
	191	1			
9月	790	21	997	41.5	39.4
	186	0			
10月	754	9	937	37.5	40.5
	174	0			
11月	751	5	953	39.7	38.1
	197	0			
12月	789	5	1,004	43.7	35.7
	210	0			
1月	819	14	1,052	45.7	35.7
	219	0			
2月	833	9	1,081	47	32.1
	239	0			
3月	926	13	1,186	45.6	32
	247	0			
合計	11,319	104	11,423	38.8	40.9
17年度	12,136	31	12,167	40.9	—

(7) 母子生活支援施設「高木園」事業 (29,561,194円)

児童福祉法に定められた施設であって、配偶者のいない女子またはこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて保護するとともに、自立の促進のために生活を支援することを目的とする。

職 員 (所長 1名・母子指導員2名・少年指導員2名・調理員等1名)

暫 定 定 員 18世帯 (6世帯15名 19年3月末日)

世帯主年齢構成 平均年齢38.2歳

在所期間 (世帯) 平均1.55年

1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	5年以上	合 計
2	2	1	1	0	6

《年間行事》

毎月1回避難訓練・母の会・害虫駆除2回・毎月1回以上外庭掃除 (大掃除年2回)・室内検査 (随時)・消防訓練2回・河川清掃・園外研修・健康診断2回・こどもの日会・七夕会・クリスマス会・節分会・ひなまつり会・進級祝会を行った。家事・育児・金銭管理・就労意欲、対人関係のトラブル、精神不安・ギャンブル依存等の問題行動に対し、自立に向け指導援助を行った。学校、児童相談所、医療機関、各福祉事務所等多方面の機関と連携を取りながら日々援助指導にあたった。学業成績優秀な児童もいるが、学習の遅れがある児童も多く学習面や生活面の指導援助を行った。

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
福祉サービス利用 支援部門	(8)生きがい講座 運営事業	高齢者が趣味の仲間の輪を広げ、老後の生活に生きがいを持ってもらう。	佐賀市内居住の60歳以上の高齢者	【延べ参加人員：1,947人】 書道教室 月3回 (第1・3・4木曜日) 生花教室 月2回 (第1・3水曜日) 気功教室 月2回 (第2・4火曜日) 編物教室 月2回 (第2・4月曜日) 童謡唱歌教室 月2回 (第2・4木曜日)	3,380	3,289

3. 在宅福祉サービス部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
在宅福祉 サービス 部 門	(1)寝具洗濯乾燥 消毒サービス 事業	在宅で生活する衛生管理が困難な方に対し、寝具の衛生管理のための水洗い及び乾燥消毒等のサービスを実施する。	佐賀市内在住の、おおむね65歳以上の単身、高齢者のみ世帯（所得制限有）及び身体障がい者（1・2級）	【年2回実施 延べ134人利用】 ・第1回目（9月） 72人 ・第2回目（2月） 62人	611 1,196
	(2)通所介護事業 (開成デイサービスセンター)	利用者の送迎・入浴・食事・レクリエーションなどのサービス提供を行う。	介護保険の要支援・要介護者	・実施日数：294日 ・延利用者数：3,511人	27,797 30,225
	生きがい活動支援通所事業	レクリエーションや各種クラブ活動、健康チェックなどを行い、生きがいの創出を助長するサービスを提供する。	佐賀市内在住のおおむね60歳以上の自宅に閉じこもりがちな高齢者	・実施日数：242日 ・延べ利用者数：3,139人 ・一日平均利用者数：12.9人	10,777
	特定高齢者通所介護予防事業	おもに運動機能向上や口腔機能向上を目的としたサービスを提供する。	佐賀市の基本健診を受診され、おもに運動機能、口腔機能、栄養が基準より満たされていない高齢者	—	— 15,599
	(3)居宅介護支援事業（居宅介護支援佐賀事業所）	指定居宅介護支援事業所としてケアプラン作成、介護保険サービス調整、要介護認定調査を行った。	介護認定者	ケアプラン管理者数41名 要介護認定調査51件	6,344 9,741
	(4)外出支援事業	移送サービス事業	常時、車椅子を利用される在宅の身体障がい者及び高齢者の方	※利用料 無料 ※目的地（利用件数） 医療機関 354件 福祉施設 11件 公共機関 79件 社会参加等 123件 その他 2件 ※延べ利用者数 385人	409 1,077
		ガイドヘルパー事業（居宅介護〔通院介助〕、佐賀市移動支援事業）	視覚障がい者障がい福祉サービス受給者証を申請された方	視覚障がい者が安全に外出する事ができるよう、付き添い介助するガイドヘルパーを派遣する。派遣回数：約560回	1,420 1,399

Ⅲ. 諸富支所

1. 地域福祉活動推進部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
1 住民、 当事者、 社会福祉 事業関係 者との連 絡調整、 支援	(1) 福祉団体等 及び社会福祉 事業施設助成 事業	福祉活動の振興を図 るため、福祉団体、 ボランティア団体等 の運営に要する経費 に対して助成金を交 付し、福祉のまちづ くりを推進する。	福祉団体、 ボランティ ア団体	遺族会 (50)、傷痍軍人会 (36)、身体障害者福祉協会 (50)、母子寡婦福祉会 (36)、 手をつなぐ親の会 (21)、老 人クラブ連合会 (90)、町ボ ランティア推進協 (90)	373 —
2 ボラン ティア活 動事業	(1) ボランティ アセンター事 業	ボランティア活動をし たい、あるいはボ ランティアを必要と する個人・団体・施 設等の相談、また悩 みを抱えながら活動 している個人や団体 の相談を行う。	一般市民	①ボランティア会員登録者 の整備 個人151人・41団体3,729人 ②ボランティア養成講座等 の開催 ③ボランティア情報の発信 ④個人ボランティアの発掘、 育成 ⑤ボランティア推進協議会 の育成 ⑥ボランティア活動保険へ の加入促進	54 98
3 小地域 ネットワ ーク活 動 (高齢者 支援事業)	(1) ふれあい いきいきサロ ン事業	地区の公民館等に定 期的に高齢者等が集 まり、仲間づくりや 生きがいづくりをし ることを目的に行う。	60歳以上の 高齢者・地 域のボラン ティア	3地区で実施 【参加者数】848人 【内容】健康教室・もちつ き大会・しめ縄づくり等	130 130
	(2) 高齢者ふれ あいサロン事業			平成18年度登録サロン 14サロン	— —
	(3) 健やか健康 促進事業	高齢者の介護予防の ため、健康・体力の 維持を図ることを目 的に行う。	60歳以上の 高齢者	25ヶ所で実施 【内容】口腔ケア・顔面体 操・転倒予防の体操・血 圧測定・健康チェック 【講師】町内歯科医・保健 師・理学療法士等 (毎回 ボランティアでの協力)	84 400
	(4) レクダンス 講習会の開催	高齢者の生きがいと 活力を引き出し、健 康・体力維持を図る ことを目的に行う。	60歳以上の 高齢者	年3回開催 (8/8・8/30・9/12) 【参加者】300人	41 50
	(5) 友愛ヘルプ 支援事業	老人クラブ役員を中 心に、ひとり暮らし家 庭を訪問し、話し相 手や安否確認を行う。	ひとり暮ら し高齢者、 虚弱高齢者	【ボランティアヘルパー】 男 25人 女 50人 【内容】話し相手、安否確 認、約280人へ年賀ハガキ を出す	0 60
	(6) 「菖蒲の会 のつどい」	日頃人との交流が少な いひとり暮らしの人が、 交流を深め、リフレッ シュしてもらうことを 目的に行う。	ひとり暮ら し高齢者	【期日】 平成18年11月21日 【場所】秋月城址 【参加者数】90人	256 248

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
	(7) 鏡餅配布事業	民生委員児童委員の協力のもと、ひとり暮らしの高齢者のため行う。	ひとり暮らし高齢者	【期日】 平成18年12月29日 【対象者】 213人	192	225
3 小地域 ネットワー ク 活 動 (障がい 児支援事 業)	(1) 紙おむつ支給事業	在宅の障がい児に対し、紙おむつの支給を行う。	在宅障がい児	【対象者】 7人	308	250
	(2) 障がい児サロン支援事業	障がい児をもつ親を中心に、親睦を兼ねて行う。	親子（障がい児をもつ）	毎月第2土曜日	131	20
3 小地域 ネットワー ク 活 動 (見守り ネットワ ーク事業)	(1) 高齢者ネットワーク台帳整備事業	ひとり暮らし高齢者・後期高齢者の安否確認ネット化の促進、情報収集を目的に民生児童委員を中心に行う。	ひとり暮らし高齢者、後期高齢者	地域の役員等に協力を依頼し、安否確認に努める。	19	10
	(2) 緊急連絡カード整備事業	民生委員、児童委員を中心に、ひとり暮らし高齢者の電話のそばに「きんきゅう連絡表」を設置する。	ひとり暮らし高齢者	緊急時に備えて実施	0	10
4 福祉教 育・啓発 活動	(1) ホームページの更新	より新鮮な情報を市民の方々に知らせるため、ボランティアの協力を得て諸富支所独自のホームページの更新を行う。	一般市民	月1回更新	0	0
5 地区民 生委員児 童委員協 議会活動 の推進・ 支援	(1) 地区民生委員児童委員協議会活動支援事業	住民の立場に立って相談に応じ、援助を行い、広く住民の福祉にかかわり、地域福祉活動の増進を積極的に行っている民生委員児童委員の支援・協力を行う。	地区民生委員児童委員 25人	地区民生委員児童委員協議会 毎月1回（10日）	0	0

2. 福祉サービス利用支援部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
1 住民の 福祉活動 の推進・ 支援	(1) 佐賀市産業振興会館管理・貸出	地場産業の振興と一般市民の福祉の向上に寄与するため、産業振興会館の管理、貸出を行う。	一般市民	【開館時間】 9：00～23：00 【延利用件数】 959件 【延利用人数】 22,246人	0	618

3. 在宅福祉サービス部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績（単位：千円）		平成19 年 度 予 算
1 子育て 支援事業	(1) ふれあい広 場事業	子育て中の親子がい つでも気軽に集い、 語り合い、交流がで きる場を身近な地域 に設置し、専任スタッ フが育児不安等につ いての相談・助言を 行ったり、子育てサー クル等への支援等 を行うことにより、子 育て中の親子が安心 して子育て・子育て ができる環境づくり をすすめるとともに、 地域の子育て力を高 める拠点となること を目的に行う。	未就学児親 子地域住民	①ふれあい広場の開放 【開放日】月～土 10：00～16：30 【延利用者数】6,877人 【日平均】26人 ②子育てサロンの開催 【支援グループ交流サロン】 実施回数 88回 参加者数 2,286人 【出前サロン】 実施地区 5 地区 参加者数 122人 ③子育て講座の実施 実施回数7回（延87人） ④子育て相談 【開催回数】 13回 【参加者数】 103人 ⑤子育てに関する情報提供 “ハッピーママ” 月1回発行 ホームページに掲載 ⑥広場での一時託児 【託児件数】 8 件 ⑦布遊具作り 月2回、会員数7人 ⑧イベントの開催 【子どもフェスタ】 実施日 6/3(400人) 【ふれあいコンサート】 実施日 11/18(176人)	2,416	4,012

IV. 大和支所

1. 地域福祉活動推進部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門	1. 民生委員児童委員活動への支援・協力事業	住民の立場に立って相談に応じ相談援助を行い、広く住民の福祉に関わり地域福祉活動の推進を積極的に行っている民生委員児童委員活動の支援・協力をを行う。	民生委員児童委員50名	毎月一回の民生委員児童委員会に出席し、社協事業の伝達と必要な意見交換を行い協力依頼や民生委員、児童委員からの助言協力をいただいた。	0
	2. ボランティアセンター事業	ボランティアをしたい人とボランティアを必要とする個人及び団体の相談を受け、適切なコーディネートを行った。また、ボランティア活動を推進する。	一般市民	ボランティア登録者には毎月ボランティアだよりを発行し、ボランティア情報の発信をし、適切なコーディネートを行った。 【個人登録者数】 80名 【登録団体数】 17団体 【派遣依頼件数】 60件 【派遣件数】 55件	326
	3. 各種福祉団体支援事業	福祉団体及び社会福祉事業施設助成事業		・大和町身体障害者福祉協会 (97) ・大和町傷痍軍人会 (12) ・大和町遺族会 (179) ・川上遺族会 (20) ・春日地区遺族会 (20) ・松梅地区遺族会 (14) ・大和町ボランティア推進協議会 (180) ・大和町老人クラブ連合会 (235) ・大和町母子寡婦福祉会 (18)	775
	4. 松梅児童館運営事業	児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操豊かにするとともに、集団的及び個別指導を行い、母親クラブ、老人クラブ、など地域活動の助長を図る。	2歳児～5歳児までの保育、学童利用、放課後児童利用、母親クラブ及び老人クラブの各種活動	【延べ利用状況】 ・館児・・・4,755人 ・幼児・・・1,124人 ・小学生・・・1,035人 ・一般・・・1,287人 ・1日平均・・・28人 【開館日数】293日 【主な行事】 入園式、歓迎遠足、いちご狩り、親子触れ合い会、七夕祭り、夏祭り、運動会、見学旅行、落ち葉拾い、祝七五三、冬祭り、発表会、豆まき、ひな祭り、卒園式、絵画教室、フッ素洗口、お茶教室、自然散歩、体育遊び	16,752
					16,363

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門	5. 大和老人セ ンターの運営 事業	高齢者の教養の向上及びレクリエーション等のため必要な便宜を提供することにより、いつまでも生きがいを持ち、健やかで安心した生活が送れるよう支援する。 《事業内容》 (1) 会議室等の貸出し 【利用日時】 月～土 9時～16時 【利用料】 無料 (2) 温泉浴場管理 【利用日時】 月～金 10時～15時30分 【利用料】 無料	60歳以上の方	【利用状況】 ・市内（男）1,717人 （女）1,205人 ・市外（男）65人 （女）0人 ・合計2,987人 ・1日平均12人	8,765	9,489
	6. 子育て支援 事業	親子の触れ合いの機会をつくるため、「松梅っ子お話会」を開催し、読み聞かせ、紙芝居、人形劇などを通して、子ども同士、親子同士の交流を図る。	幼児・児童とその保護者	—	—	71

2. 福祉サービス利用支援部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
福祉サー ビス利用 支援部門	1. 総合相談事 業	生活上に発生する困難な問題について誰もが相談できる専門家を配置し、問題解決を図り、以って住民福祉の向上に努める。	一般市民	・心配ごと相談 【日時】 毎月第4木曜日 10:00～12:00 【場所】 大和老人福祉センター 【相談員】 元裁判所首席書記官 【相談者数】 (H18年度) 9人 (H17年度) 14人	48	55

3. 在宅福祉サービス部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績（単位：千円）		平成19 年 度 予 算
在宅福祉 サービス 部 門	1. 生きがい活動支援通所事業	おおむね60歳以上で家に閉じこもりがちな方を対象とし、レクリエーションや外出、趣味、創作活動を提供し、要支援、要介護状態にならないよう支援を行う。	介護保険の要支援・要介護のかたを除く おおむね60歳以上の元気な方	【対象区域】 大和町内全域（金立、久保泉） 【利用料金】 700円 【曜日】 月～金 【時間】 9：30～16：00 ※12月30日から1月3日を除く 【実施日数】 254日 【利用者数】 延べ 3,118人 【1日平均】 12.2人 【主な行事】 誕生会・おやつ作り・ゲーム・趣味の時間（生花教室、書道、工作、折紙・手芸）・バスハイク（季節のお花見、ショッピング、三社参り、施設見学）季節の行事（ぜんざい会、節分豆まき、クリスマス会）・健康体操・ボランティア余興	9,079	7,674
	2. 特定高齢者通所介護予防事業	おもに運動機能向上や口腔機能向上を目的としたサービスを提供する。	佐賀市の基本健診を受診され、おもに運動機能、口腔機能、栄養が基準より満たされていない高齢者	—	—	
	3. 移送サービス事業	佐賀市大和町及び富士町に居住する、既存の交通機関による移動が困難な高齢者や身体障害者に、ボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車（1台所有）を利用した移送サービス事業を行う。	佐賀市内居住の在宅の車椅子利用者	【登録者数】 ・大和町32人 ・富士町18人 ・合 計50人 【利用料】 無料 【目的地】 医療機関 341件	1,016	0
	4. 通所介護事業（デイサービスセンター さくら）	要支援・要介護状態の高齢者に対しその利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるように、送迎・入浴・食事・レクリエーション・外出等のサービスを提供した。本人や家族、他事業所や医療機関等との情報交換を行い快適な在宅生活を継続できるよう支援を行う。	介護保険の要支援、要介護者	【利用料金】 介護保険の適応相当分（個人負担：1割）、昼食代400円 【利用日時】 月曜日～金曜日 9：30～16：00（概ね6時間以上8時間未満） ※12月30日～1月3日を除く 【実施日数】 254日 【利用者数】 延べ 3,108人 【1日平均】 11.2人 【主な行事】 誕生会・おやつ作り・ゲーム・趣味の時間（季節のお花見、ショッピング、三社参り、施設見学）・季節の行事（ぜんざい会、節分豆まき、クリスマス会）・健康体操・ボランティア余興（音楽レクリエーション）・映写会・運動会	23,424	26,284

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
在宅福祉 サービス 部 門	5. 居宅介護支 援事業	指定居宅介護支援 事業所の指定を受 け、要介護認定調 査、ケアプラン作 成、介護保険サー ビスの調整等を行 う。	在宅の要支援、 要介護状態の 高齢者	【要介護認定調査】 48件 【延居宅管理者数】 458人 【月平均】 38人	3,154	—
	6. 温泉バス巡 回事業	・運行日時 月～金 【迎え】10時～ 【送り】 14時30分～ ・利用料 無料	大和町内の60 歳以上の方	・運行日時 月～木 【迎え】10時～ 【送り】14時30分～	0	604

V. 富士支所

1. 地域福祉活動推進部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門	1. 福祉基礎台 帳の整備	社会福祉を目的とする事業に関する調査（定款第2条第3号）により、担当民生委員児童委員の協力を得て実施する。	①ひとり暮らし高齢者 ②高齢者のみ世帯(夫婦共に65歳以上) ③寝たきり高齢者 ④虚弱老人 ⑤認知症の高齢者 ⑥母子世帯 ⑦ 寡 婦 世 帯 (母子及び寡婦福祉第5条の定義による。) ⑧父子世帯 ⑨養育世帯(祖父母養育等) ⑩生活困窮世帯(要援護世帯)	ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯については、個人情報保護施行により、本人へ名簿提供の意思確認をし、町内小・中学校へ必要に応じ提供した。名簿提供により、「暑中見舞状」及び「年賀状」並びに学校で収穫した野菜を配布することができた。その他の調査事項は、民生委員児童委員の協力のもと、地域の実態把握に努めることができた。	0 0
	2. ボランティア センター事業 (1) ボランティア 連絡協議 会基盤整備	ボランティア活動の登録拡大、ボランティア保険の加入支援など基盤整備を図る。	ボランティア 連絡協議会	1) ボランティア連絡協議会個人会員106人 2) ボランティア連絡協議会グループ10グループ/延べ192人 3) ボランティア保険加入状況/130人	180 0
	(2) ボランティア 連絡協議 会支援	ボランティア団体が、自主的に相互の交流や情報交換、学習ができるよう支援を行う。	ボランティア 連絡協議会	1) ボランティア連絡協議会 延べ活動日数/195日 延べ参加人数/1,409人	59 0
	(3) 技術ボラ ンティア育 成事業 ①絵手紙講座 ②折り紙講座	技術ボランティアを育成し、地域福祉活動に役立てる。	一般市民	①絵手紙講座 絵手紙の技術を身につけ、地域のひとり暮らし高齢者と絵手紙を通じて、ふれあいを図った。 ②折り紙講座 折り紙の技術を身につけ、生きがいデイサービスにおいて、利用者と折り紙を通じて、ふれあいを図った。	135 0
	(4) ボランティア リーダー 研修	住み慣れた地域でボランティア活動が継続できるよう会員の意識高揚を図る。	ボランティア連 絡協議会グル ープリーダー・サ ブリーダー	住み慣れた地域に住み続けられるよう、互いにたすけあう事への理解を深めた。	0 0

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門	(5) 地域福祉 関係団体と の調整会議	地域福祉事業を円 滑に展開するため 関係団体やボラン ティア団体と調整 を図る。	・ ボランティア 連絡協議会グ ループリーダー・ サブリーダー ・ 社会福祉施設 ・ 老人クラブ ・ 食生活改善 推進協議会	ボランティア連絡協議会をはじ め関係団体や施設と調整するこ とにより、円滑な事業展開がで きた。	750 0
	3. 小地域ネッ トワーク活動	(1) 見守りネッ トワーク ①緊急連絡カー ドの整備	ひとり暮らし 高齢者	ひとり暮らし高齢者の緊急時の 対応について、カードを整備す ることにより、円滑に対処でき た。対象者/126人	151 151
		(2) 日常生活用具 貸与	一般市民	①ベッド 1 台貸し出し ②車椅子 1 台貸し出し	0 0
		(3) 高齢者生きが い活動 ①銭太鼓養成 ②60からのいき いき元気塾 ③町内外探訪	65歳以上の高 齢者	①銭太鼓 延べ回数/37回 延べ参加者数/1,762人 ②60からのいきいき元気塾 延べ回数/5 回 延べ参加者数/227人 ③町内外探訪 参加延べ人数/438人	537 716
	4. 住民の福祉 活動の推進	(1) ふれあいフレ ッシュサロン	老人クラブ	延べ回数/23回 延べ参加者数/558人	297 342
		(2) ふれあい会食 会	65歳以上のひ とり暮らし高 齢者	ボランティア連絡協議会、社協 支援グループ及び民協福祉女性 部による調理支援。 支所内保育園児による生活発表。 参加者45人	114 120
		(3) 鏡餅配布	65歳以上のひ とり暮らし高 齢者	ボランティア連絡協議会グルー プで餅つきをし、民生委員児童 委員により配布。	120 120
		(4) 子育て支援 ①ふれあいチャ レンジ塾 ②富士っ子わく わくクラブ ③一輪車育成 ④子育て支援事 業支援者調整 会議	①②③→ 小学生 ④→ ボランティア連 絡協議会・民生 委員児童委員女 性部・食生活改 善推進協議会・ 銭太鼓受講生・ 読み語りグルー プ・家庭教育相 談員・育児サポ ーター	①ふれあいチャレンジ塾 ・ 延べ回数/23回 ・ 延べ参加者数/768人 ②富士っ子わくわくクラブ ・ 延べ回数/14回 ・ 延べ参加者数/274人 ③一輪車育成 ・ 延べ回数/24回 ・ 延べ人数/332人 ④子育て支援事業支援者調整会議 ・ 延べ回数/2 回 ・ 延べ参加者数/60人	408 487
	5. 福祉教育・ 啓発活動	(1) 福祉活動協力 支援及び福祉教 育学校における 福祉教育・ボラ ンティア活動の 取り組み状況や 課題を共有する。	児童・生徒	学校における福祉教育・ボラン ティア活動の取り組み状況や課 題を共有し、地域における連携・ 協働のあり方について情報交換 を行い、デイサービスでの交流 や福祉施設で清掃活動を実施し た。	0 0

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動推進 部 門		(2) 交歓のタベ	一般市民	障がいを持った者も持たない者 も一体となって住みよいふるさと づくりをめざすと共に、盆踊りや 夜店での交流を通じて、障がい について理解を深める。 一般参加者 600人 ボランティア 42人	0	0
	6. 社会福祉関係諸団体の支援	(1) ふれあい福祉バザー	一般市民	共同募金活動の一環として「富士町ふれあい祭」でバザーを開催。 益金 118,560円	0	0

2. 福祉サービス利用支援部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
福祉サービス利用 支援部門	1. 総合相談事業 (1) 暮らしの トラブル無料法律相談	多重債務や破産など日常の暮らしの中で様々な悩みやトラブルで困窮されている方々が気軽に相談できる機会を設けることによって、安全、安心な生活環境づくりに資することを目的に平成19年1月から司法書士の協力で、毎月第3火曜日に無料法律相談所を開設した。	一般市民	1月から3月まで毎月開設。 相談者 3人	0	0

3. 在宅福祉サービス部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
在宅福祉サービス 部 門	1. 生きがい活動支援通所事業	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所による各種サービスを提供することにより、生きがいと社会参加を促進し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長をはかることを目的に、ゆうあいデイサービスを実施した。	介護保険の要支援・要介護のかたを除くおおむね60歳以上の元気な方	・年間運営日数 191日 ・年間利用者数 2,776人	8,914	7,296

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
在宅福祉 サービス 部 門	2. 軽度生活援助事業	軽易な日常生活の援助をすることにより、家庭での自立した生活を支援する。	おおむね65歳以上のひとり暮らし及び高齢者のみの世帯並びにこれらに準ずる世帯	なし	—	955
	3. 生活管理指導員派遣事業	基本的な生活習慣が欠如し、対人関係が成立しない等いわゆる社会適応が困難な方に日常生活の指導・支援を行い、自立した生活がおくれるよう支援を行った。	おおむね65歳以上の社会適応が困難な高齢者	年間延べ利用者数/45人 年間延べ利用時間/430H(時間)	617	—

VI. 三瀬支所

1. 地域福祉活動部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動部門	(1) 民生委員児童委員との連携	住民の立場に立って相談に応じ相談援助を行い、広く住民の福祉に関わり地域福祉活動の推進を積極的に行っている民生委員児童委員活動の支援・協力を行った。	民生委員児童委員10名	毎月一回の民生委員児童委員会へ参加し、毎月の社協事業の伝達をするとともに、必要な意見交換を行い協力依頼や民生委員からの助言協力をいただいた。	0 0
	(2) 高齢サービス調整会議への出席	住民の方々の日頃の生活状況や身体状況などの情報交換を行い、生活状況や健康状態の把握検討をし、よりよい福祉サービスの向上に努めた。	佐賀市職員、市保健師、診療所医師、診療所歯科医師、施設職員、社協職員	毎月1回実施	0 0
	(3) 佐賀市三瀬地区巡回バス事業	住民の交通手段としての送迎と小学生の下校時の送りを、村内を東部と西部に分けてマイクロバスで一日5便運行して、福祉サービスの利用促進を図り、また、小学生の安全確保を行った。	一般市民 小学生	住民の交通手段としての送迎と小学生の下校時の送りを村内を東部と西部に分け一日5便運行した。 利用延べ人数 7,056人 人口1700人で月延べ利用人数 588人	3,120 3,120
	(4) お一人住いと高齢者二人暮らしの食事教室	佐賀市三瀬内にお住まいの65才以上で、お一人住まいの方と高齢者二人暮らしの方が今の食生活を見直して、地元で取れた食材や地元で買い物した食材を使って料理を作り、毎日の食事を美味しく楽しくすることによって健康増進につながることを目的として食事会を行った。	65才以上で お一人住いの方 と高齢者二人 暮らしの方	地元で取れた食材や、地元で買い物した食材を使って料理を作り、毎日の食事を美味しく楽しくすることによって健康増進につながった。 年6回実施 参加者延べ78人	131 120

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)	平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動部門	(5) 男の料理教室の開催	料理に興味がなかったり、あまり経験がない高齢者世帯の男性に調理実習を通して調理の基礎を身につけ、また、健康に欠かすことの出来ない栄養の知識の大切さを学び自立生活の助長を図ることを目的として教室を行った。	高齢者世帯の男性	料理に興味がなかったり、経験がない高齢者世帯の男性に調理実習を通して調理の基礎を身につけ、また、自立生活の助長を図ることを目的とした。 2回実施 参加者延べ50人	51 56
	(6) 家族介護者交流事業	自宅で介護されている方に、食事会を実施しわずかの時間ではあるが癒しの時間を持っていただき、また、参加者同士お互いに介護する時の食事や介護についての相談や情報交換を行い日頃の介護の疲れを癒していただくように実施した。	自宅介護をされている方	食事会を実施し、参加者同士お互いに介護する時の食事や介護についての相談や情報交換を行い日頃の介護の疲れを癒していただくように実施した。民生委員から3名参加していただき、いろいろな相談を受けてもらった。 参加対象者15名の内9名参加	31 40
	(7) 介護用品支援事業	在宅の概ね65才以上の高齢者に対して紙おむつや尿取りパットを支給することにより、高齢者福祉の向上を図った。	在宅の概ね65才以上の高齢者で、常時失禁状態にある方。市の支給対象外で常時紙おむつを使用する方	紙おむつや尿取りパットを支給することにより、高齢者福祉の向上を図った。 支給対象者12名	220 330
	(8) 鏡餅配布による安否確認	民生委員児童委員の協力のもと、鏡餅を配布していただき安否確認も兼ねて事業を実施した。	80才以上のお一人暮らしの方・母子父子家庭の方	民生委員児童委員より鏡餅を配布していただき安否確認も兼ねて実施。 対象者23世帯	67 86
	(9) 新入学児童への黄色い帽子配布	共同募金の配分金を財源に、少子高齢化の今日、次の世代を担う子供達に赤い羽根共同募金について、より身近に関心や理解をもってもらうために、小学校入学式のおり新入学児童へ黄色い帽子贈呈を行った。贈呈は社協理事が行った。	平成19年4月小学校入学児童 20人	小学校新入学児童へ社協理事より黄色い帽子の贈呈を行った。 対象者20名	20 20

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
地域福祉 活動部門	(10) 一日ファミ リー事業の実 施	一日ゆっくり楽し んでもらう	母子父子家庭 の児童	長崎県鷹島モンゴル村で、一日 楽しんだ。 参加対象者7名内5名参加	15	30
	(11) 各種団体へ の助成	各種団体への運営 費等の助成を行っ た。	各種団体	老人クラブ連合会(30) 遺族会(39)、遺族会青年部(39) 子供クラブ(30) 食改協(30)、身障連合会(30) 母子寡婦福祉会(20) ボランティア連絡協議会(80)	298	0
	(12) 流水浴機器 等管理運営事 業	住民の健康増進を 図ることを目的と して事業を実施し た。	一般市民	平日利用可(祝祭日を除く) 年間利用者延べ1,719人	1,700	1,700
	(13) 探検佐賀市	市内の施設等を訪 問し知識を深め住 民とのふれあいを 通して社会的孤立 感の解消や自立生 活の助長を図る。	高齢者	年12回実施	—	125
	(14) ボランティ アセンター事業	ボランティア連絡 協議会設立を目指 し、ボランティア 養成講座や入門教 室を実施した。	一般市民	ボランティアについてのお話会 実施4回 入門教室実施4回 検討会実施1回 ボランティア清掃実施1回 3月2日ボラ連設立	125	143

2. 在宅福祉サービス部門

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
在宅福祉 サービス 部 門	1. 居宅介護支 援事業	居宅において自立 した生活を営むこ とができるよう、 心身の状況、環境 に応じ関係機関と 連携し、希望に応 じ適切なサービス が多様な事業者か ら総合的かつ効率 的に提供されるよ う支援を行った。	介護保険法に より要支援・ 要介護状態に ある方		146	0

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
在宅福祉 サービス 部 門	2. 軽度生活援助事業	介護保険非該当の方を対象に事業を実施し、日常生活の援助が必要な方に対してサービスを提供し、健康で快適な生活をおくっていただくよう努めた。また、安否確認も行った。 事業対象者13名 安否確認対象者6名	概ね65才以上の独居高齢者及び高齢者のみの世帯並びにこれに準ずる世帯	事業対象者13名 安否確認対象者6名	186	397
	3. 三瀬ふれあいチャレンジ塾	子供達が自由に遊び交流する場を設け、他の地域の子供達との交流や遊びを通して他人を思いやる心や相手の立場に立って共感する温かい心をはぐくむことを目的とする。	小学生	土曜日の午前中、年6回実施 グラウンドでの昔遊びやゲームを行う	—	87
	4. みつせスマイルキッズ	子育て中の親子が気軽に集まり交流ができ相談できる場を設け高齢者とも地域で子育てを合言葉に事業を実施。	未就学児とその親 地域の高齢者	月1回の年12回実施 バスハイク1回、運動会、布おもちゃづくり2回おりがみ教室、絵本の読み聞かせ等	—	166

V. その他事業

1. 日本赤十字社事業（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

区 分	事 業 名	事 業 の 概 要	対 象	18 年 度 実 績 (単位：千円)		平成19 年 度 予 算
そ の 他 事 業	日本赤十字社事業	国際救援活動や災害救護活動などの人道的使命に基づいて国内外で事業を実施している赤十字の佐賀市地区として、赤十字思想の更なる普及をはかり、事業推進に必要な資金を確保するため、普通・特別会員の確保を行った。	全市民	(1)各種講習会：市民の命を守るため各種講習会の開催を積極的に推進し、蘇生法などの講習に指導員を派遣した。 (2)災害義援金の募集・受付 災害義援金の募集及び受付を行い災害地への支援を行った。 (義援金は、日本赤十字社佐賀県支部を通じて送金した。)	—	—